臼杵市立北中学校
校長通信 NO.26
令和8年10月27日
文責:戸髙浩二

叡智と愛 3.0

北中生へ　北中生に対する最近の校長の思い

今の北中生と文化祭





生徒会役員認証式で、ステージ上の新役員のやる気に満ちあふれた輝く目。式が始まる前、私語をすることなく静かに開始を待ち、式の最中、新役員の話しを真剣に聴く全校生徒の熱い眼差し。

県駅伝予選会で、一番先に開会式の場所に集まり、座って静かに開始を待つチーム北中のメンバー。そして競争中、激走するメンバーに声を張り上げて力一杯応援する仲間たち。

県新人で、勝負がほぼ決まっても、最後の最後まで手を抜かず、力を尽くす北中の選手。

体育の授業で、準備運動の時に腹の底から掛け声を出し、バレーボールの練習中は仲間を励ます声をかける北中生。

修学旅行で、京都自主研修やUSJでの集合時間だけでなく、食事、入浴などの全ての時間を守った2年生。仲間の事を思い、優しい声をかける温かな2年生。そして、先生に言われるのでなく、自分たちで気づき、考え、注意し合い、行動することが出来た2年生。

そんな、人として大切な温かさや明るさ、一生懸命さを北中生はもっている。それが何より嬉しく誇りに思う。

さあ、文化祭まで3週間を切った。合唱練習にも熱が入ってきた。シン・探究3．0もフィールドワークが終わり、発表準備の段階になった。

熱く、温かな心をもつ北中生179人が、この文化祭でどんなパフォーマンスを魅せてくれるのだろうか。これまでに無いどんな北中文化祭を創り上げるのだろうか。

文化祭に向かっていくこの3週間。毎日が楽しみだ。

誕生日に思う

10月、今年も私の誕生日がやってきた。そして、今年も北中の全校生徒が誕生日を祝ってくれた。給食時間、生徒に呼ばれて中庭に行ってみると、1階から3階の廊下から中庭に向けて全校生徒がハッピーバースデーの歌を歌ってくれた。

中庭から見た北中生一人ひとりの表情はこの日の秋空にように、爽やかで清々しかった。

北中生の温かさを感じた。

北中生の愛を感じた。

北中生はほんと、最高だ！北中の校長でよかった！

これ以上ない幸せな時間をありがとう！！